第105号　2023年1月10日　　発行人　山田　憲吾　　編集人　吉田　岳史

道建労協機関紙 PAVE

Council of Construction Worker's Union(C.R.U)

道路建設産業労働組合協議会　〒104-8380　東京都中央区京橋1-19-11（ＮＩＰＰＯ労働組合内）　電話03（3563）6744
URL　http://www.doukenroukyou.com

〈 2023年　年頭挨拶 〉

道建労協加盟単組の組合員ならびにご家族の皆様、明けましておめでとうございます。

新春をご家族の皆様と共に明るくお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、年末年始にもかかわらず業務に従事された皆様には心より慰労の意を表します。

昨年を振り返りますと、2022年も様々な記憶や歴史に刻まれる出来事がありました。コロナ感染の拡大、北京冬季オリンピック・パラリンピックでの日本代表選手の活躍、ロシア軍によるウクライナ侵攻、サッカーワールドカップでの日本代表の活躍などありましたが、その中でも、安部元首相が銃殺されるニュースは大変な衝撃を受けた方も多くいらっしゃったのではないでしょうか。在任中も森友・加計問題など、様々な問題での関与が疑われました。また、吉田元首相以来となる国葬を開催するも開催に反対する国民による抗議集会が開かれました。首相としては、歴代最長の連続在籍日数を数え、諸外国の要人に対しての影響は小さくはなく、海外では半旗が掲げられるなど、追悼の動きが続きました。

我々建設産業に目を向けると、コロナ禍による海外事業の中止・延期や国内においても民間設備投資が低調に推移するなどし、売上高が減少していましたが、現在では公共工事は堅調に推移し、民間設備投資も回復基調となり、コロナ禍以前を取り戻す勢いとなっています。

一方で、ロシア軍によるウクライナ侵攻が起点とされる資源価格の高騰が世界的な物価高や急速な円安を招いています。我々の業界への影響は、資材価格の上昇が顕著であり、工事原価の増大により利益が低下しています。

このような中、建設業も時間外労働の上限規制適用が目前となり喫緊の課題として取り上げられています。上限規制に収まる働き方に向けては、様々な対策が実施されていますが、抜本的な解決策が見出せていません。しかしながら、今こそ変革のチャンスと捉えて労使一体となり働き方改革を力強く加速させ、無理のない適正な働き方のできる労働環境を勝ち取らなければ、我々の産業の存続は難しいのではないでしょうか。

私達道建労協は、これからも皆さんの声をしっかりと受け止めながら、組織内での議論を深め、各団体、各企業に必要な施策を提言し、道路建設産業を志す若者が、希望を持って入職し、安心して働き続けられる魅力溢れる産業を実現するために活動していきますので、引き続きのご支援とご協力をお願い致します。

最後になりますが、本年が組合員の皆さんとご家族にとって健康で実りある素晴らしい一年となりますよう祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせて頂きます。

【　議長　山田　憲吾　（ＮＩＰＰＯ労働組合）　】

フリーウェイ

【あきらめの悪い男…】

先日、マンガの連載・アニメの放送終了から実に二十六年ぶりに復活したスラムダンクのアニメ映画を鑑賞してきました。言わずと知れた井上雄彦さんの人気マンガで登場人物である安西先生の「あきらめたらそこで試合終了ですよ」という名セリフは多くのファンの印象に残っています。私は映画を観ながら二十六年前の青春時代を思い出し、感傷に浸ってしまいましたが、大変リフレッシュすることができました。同時に、あらためてライフワークバランスの大切さを痛感しました。

道建労協では週休二日の実現に取り組んでおりますが、困難な目標であってもあきらめずに取り組もうと気持ちを新たにした次第です。卯年は「飛躍する」年や時代の区切り、「契機になる」年と言われたりします。魅力ある業界へと飛躍するべく、労働環境の改善に向けてみんなで力を合わせて取り組んでいきましょう！

大成ロテック社員組合
吉田　岳史

企業・関係団体訪問

11 月土曜閉所強調月間を迎えるに際し、今年度も 10 月に各加盟単組企業本店や関係団体に対し、土曜閉所推進運動への協力要請を行いました。2022 年度より、道建協と歩調を合わせて 4 週 7 休（原則、第 1・第 2・第 4 土曜日閉所）を目指して活動しております。また、2022 年 10 月 18 日～21 日にかけて四国、中国、九州地区の各加盟単組企業支店や関係団体についても協力要請を行いました。

建設業に対する 2024 年 4 月の時間外労働の上限規制適用に向けて、加盟単組全体での閉所率は年々改善しているものの、更なる前進が必要であるとの共通認識を各社が抱いており、強い危機感と意気込みを感じました。各社を訪問し、意見交換したなかでは 6 月の閉所アンケートの結果において休日取得率の平均が初めて 80%を超えたことを受けて、今後は閉所のみにこだわるのでは無く、週休２日の実現に向けて取り組んで行くことを共有しました。また、働き方改革の取組や、社員の離職防止、次世代の担い手確保など各社が共通して有する課題に対し、忌憚のない意見交換が行われ、会社の垣根を超えて、道路建設産業全体で取り組むべき課題であるという姿勢が示されました。

社会・業界が変化している中で、私たち一人ひとりも「働き方改革」の実現に対して行動しなければなりません。道建労協では、実態把握を行い、優れた取り組みを水平展開して週休２日が定着できるように、業界団体、関係諸団体や各加盟単組企業とともに連携した取り組みを推進してまいります。

大成ロテック社員組合　吉田　岳史

各加盟単組企業及び関係団体訪問（2022年10月3日～6日）

三井住建道路㈱

大成ロテック㈱

大林道路㈱

前田道路㈱

フジタ道路㈱

東京舗装工業㈱

㈱NIPPO

日本道路建設産業協会

日本アスファルト合材協会

厚生労働省

国土交通省

【四国地区】各加盟単組企業支店及び関係団体訪問（2022年10月18日）

大林道路㈱・四国支店

㈱NIPPO・四国支店

前田道路㈱・四国支店

日合協・四国地区連絡協議会

道建協・四国支部

【中国地区】各加盟単組企業支店及び関係団体訪問（2022年10月19日～20日）

大林道路㈱・中国支店

大成ロテック㈱・中国支社

前田道路㈱・中国支店

㈱NIPPO・中国支店

道建協・中国支部

【九州地区】各加盟単組企業支店及び関係団体訪問（2022年10月20日～21日）

大成ロテック㈱・九州支社

大林道路㈱・九州支店

㈱NIPPO・九州支店

福岡県アスファルト合材協会

道建協・九州支部

地協のない地域の交流会

四国地区

2022 年 10 月 18 日（火）に高松東急 REI ホテルにて、各単組と本部からお集まり頂き、道建労協四国地区交流会が開催されました。内容に関しては、議長や事務局長による、土曜閉所運動の取り組みや各社の状況についてのお話しがあった後に、各単組での土曜閉所や時短に関する取り組みについての意見交換が行われました。特に時短に関しては人材不足等の問題もあり、どこの単組も即効性のある対策がなかなか見出せておらず、苦慮している印象を受けました。ただ、「休暇取得の呼び掛け」や「元請に対する土曜休工の要請」等、各単組で様々な取り組みが実施されており、働き方改革への意識の高まりを実感しました。初めての参加ではありましたが、同業他社の状況などについて知ることができ、大変有意義な交流会となりました。

ここ数年はコロナ禍ということもあり、道建労協でのボウリング大会の開催などはなかったため、他の単組の方々と交流する機会はありませんでしたが、自社と同じようなことを考えたり、悩んだりしているのだと感じました。

NIPPO 労働組合　鈴木　貴夫

中国地区

2022 年 10 月 19 日（水）、広島グランドインテリジェントホテルにおいて中国地区交流会が開催され、各単組と本部合わせて総勢 18 名の方にご参加いただきました。

初めに山田議長より挨拶、次に尾﨑事務局長より 11 月土曜閉所推進運動の展開について説明、続いて各単組の土曜閉所及び時短への取り組みを発表していただきました。

年 2 回実施の土曜閉所アンケート結果からも読み取れるように、以前より休みやすくなったという実感はあるものの、共に働く仲間のメンタルや業績を気づかい、心休まるのはもうひと踏ん張りといったところです。また、ICT 化での時短はもとより、名刺に「土休」シールを貼る、業務の見える化等地道な事例まで紹介・共有され、より良い職場環境にしていくためのヒントが得られたのではないでしょうか。

最後に会議終了後の懇親会は単組別でしたが、それでも開催が叶い、意見交換を行うことができ、大変有意義な交流会となったことに感謝いたします。

大林道路職員組合　白川　和代

九州地区

2022年10月20日（木）西鉄ホテルクルーム博多において、「道建労協　九州地区交流会」が開催されました。冒頭に本部役員より、道建労協の活動である11月の土曜閉所推進運動について説明があり、各単組出席者の土曜閉所推進運動や時短活動の具体的な取り組みを発表し、情報共有及び意見交換を行いました。

この意見交換では色々な意見がありましたが、そのなかに、サービス残業の話がありました。得意先の要望を満たすために労働時間が長くなったときに、会社に怒られないようにするため、サービス残業で対応してしまっているというものです。サービス残業の問題に取り組むうえで、サービス残業をするなということだけでは、解決に繋がりません。法令順守、顧客満足、業績、報酬、株主還元、どれも会社経営において大切な要素であり、相互に影響を与えています。

岸田政権は、「成長と分配の好循環」をコンセプトにした新しい資本主義の形を模索しています。家計の貯蓄は増えず、企業の内部留保は増え続けるこの現状を打開するための政策を期待したいと思います。

前田道路労働組合　尾﨑　浩司

ホームページのご紹介

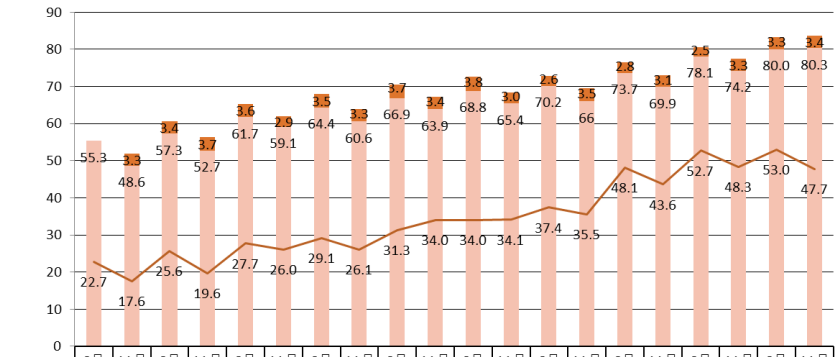
道建労協では、加盟単組組合員への更なる情報発信ツールとして、ホームページを開設しております。
本部や地協の活動状況の報告に加えて、旬な話題・旬な情報を随時発信しています！
皆さん、奮ってアクセスして下さい！

http://www.doukenroukyou.com　検　索

11 月土曜閉所アンケート結果（速報値）

※2022 年 11 月の土曜閉所推進運動アンケート集計結果につきましては、別途発行の「PAVE 番外編」に掲載いたします。

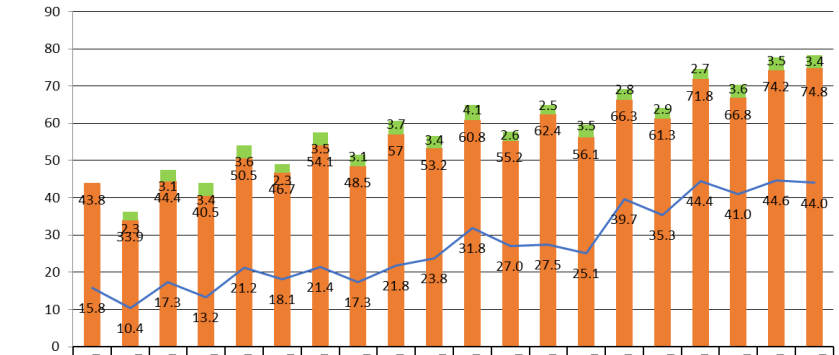
全体



閉所率・休日取得率・振替取得率推移（全体）　　単位：%

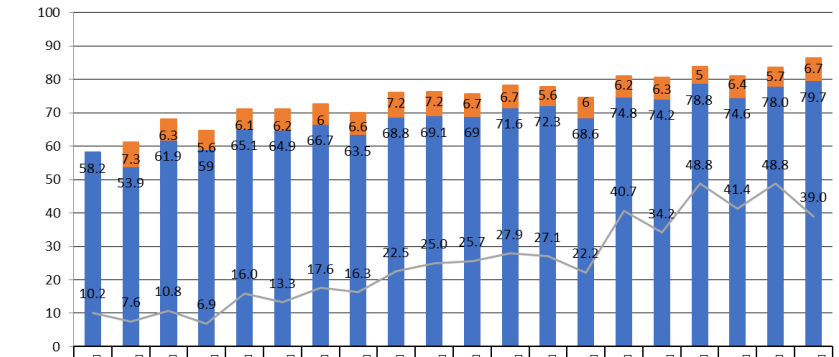
	6月	11月	6月	11月	6月	11月	6月	11月	6月	11月	6月	11月	6月	11月	6月	11月	6月	11月	6月	11月
	13年		14年		15年		16年		17年		18年		19年		20年		21年		22年	
振替		3.3	3.4	3.7	3.6	2.9	3.5	3.3	3.7	3.4	3.8	3.0	2.6	3.5	2.8	3.1	2.5	3.3	3.3	3.4
休日	55.3	48.6	57.3	52.7	61.7	59.1	64.4	60.6	66.9	63.9	68.8	65.4	70.2	66	73.7	69.9	78.1	74.2	80.0	80.3
閉所	22.7	17.6	25.6	19.6	27.7	26.0	29.1	26.1	31.3	34.0	34.0	34.1	37.4	35.5	48.1	43.6	52.7	48.3	53.0	47.7

工事部門



	6月	11月	6月	11月	6月	11月	6月	11月	6月	11月	6月	11月	6月	11月	6月	11月	6月	11月	6月	11月
	13年		14年		15年		16年		17年		18年		19年		20年		21年		22年	
振替		2.3	3.1	3.4	3.6	2.3	3.5	3.1	3.7	3.4	4.1	2.6	2.5	3.5	2.8	2.9	2.7	3.6	3.5	3.4
休日	43.8	33.9	44.4	40.5	50.5	46.7	54.1	48.5	57	53.2	60.8	55.2	62.4	56.1	66.3	61.3	71.8	66.8	74.2	74.8
閉所	15.8	10.4	17.3	13.2	21.2	18.1	21.4	17.3	21.8	23.8	31.8	27.0	27.5	25.1	39.7	35.3	44.4	41.0	44.6	44.0

製品部門



	6月	11月	6月	11月	6月	11月	6月	11月	6月	11月	6月	11月	6月	11月	6月	11月	6月	11月	6月	11月
	13年		14年		15年		16年		17年		18年		19年		20年		21年		221年	
振替		7.3	6.3	5.6	6.1	6.2	6	6.6	7.2	7.2	6.7	6.7	5.6	6	6.2	6.3	5	6.4	5.7	6.7
休日	58.2	53.9	61.9	59	65.1	64.9	66.7	63.5	68.8	69.1	69	71.6	72.3	68.6	74.8	74.2	78.8	74.6	78.0	79.7
閉所	10.2	7.6	10.8	6.9	16.0	13.3	17.6	16.3	22.5	25.0	25.7	27.9	27.1	22.2	40.7	34.2	48.8	41.4	48.8	39.0

物知りクイズ

正解者の中から抽選でクオカードをお送りします！

新年明けまして、おめでとうございます。年末年始はみなさまいかが過ごされたでしょうか。
昨年を振り返りますと、サッカーワールドカップでの日本代表の活躍は記憶に新しいところですが、冬季北京五輪での過去最多・18 個のメダル獲得、ボクシング井上尚弥選手の世界バンタム級王座4団体統一など、日本人アスリートが世界中で目覚ましい活躍をしていることは大変喜ばしい限りです。今年もラグビーワールドカップや女子サッカーのワールドカップ、野球のワールドベースボールクラッシックなどの世界的なイベントでの日本人選手の活躍を期待しましょう。
今回の「物知りクイズ」では、日本の「スポーツ」にまつわるクイズを出題します。　皆さんはいくつ回答できるでしょうか？

Q1. サッカーJリーグ・日本歴代通算最多得点記録（220 ゴール）を持っているのは誰でしょうか？
①中山 雅史　②大久保　嘉人　③佐藤 寿人　④三浦　知良

Q2. ボクシング世界王座・連続防衛記録（13 回）の保持者は誰でしょうか？
①具志堅　用高　②亀田　興毅　③長谷川　穂積　④ガッツ石松

Q3. 女子ホッケー日本代表は通称何ジャパン？
①なでしこジャパン　②さくらジャパン　③おりひめジャパン　④あかつきジャパン

Q4. 流行語大賞で初めて年間大賞を受賞したアスリートの名言は誰の名言でしょうか？
①岩崎　恭子「いままで生きてた中で一番幸せ」　②田村　亮子「最高で金　最低でも金」
③北島　康介「なんも言えねえ」　④有森　裕子「自分で自分をほめたい」

〈応募方法〉下記を明記してお送りください。 たくさんのご応募をお待ちしております。
●解答　●住所（会社宛の場合は会社名もご記入ください）
●氏名　●所属単組名
●今回の紙面でよかった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。
●締め切り　2023年2月28日（火）
●宛先　〒135-0051　東京都江東区枝川2-13-1　前田道路労働組合内
道路建設産業労働組合協議会「PAVE」宛
FAX　03-6458-4085　E－mail：kumiai@maedaroad.co.jp

■PAVE104号　物知りクイズ当選者
該当なし

編・集・後・記

新年あけましておめでとうございます。
2022 年もコロナ禍は終息の気配を見せず、第７波、第８波の影響を受けながらも、道建労協は感染対策を取りつつ、企業団体訪問、地協のない地域交流会など活動を活発化させてきました。本年もより良い労働環境を目指し活動しますので、皆様のご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。
さて、各単組１１月土曜閉所の結果はいかがでしたでしょうか。時間外労働削減は各単組で喫緊の課題になっていることと思います。そんな中、建設業の上限規制適用も迫ってきています。業務量に然程変化はないのに、労働時間は削減するという制度が先行している感は否めませんが、時間外労働削減のチャンスとも捉えられます。無駄を省く、仕組みを変える、新しいツールを導入する等、効率を上げる施策を、会社側に要求する事も必要ですが、私たち自身が能動的にその意識の基に取組むことも大切だと思います。賃金の面でも、時間外労働の削減が恒常的に可能と証明できれば、会社側も時間外手当削減分をベースアップに充てようという方向に舵を切れるのではないでしょうか。
広がりを見せる SDGs の開発目標の中にも「8 働きがいも経済成長も」という項目があります。私たちが働く建設業も取り残されることなく、時間外勤務の上限規制をクリア可能なものと証明し、「持続可能な働き方」として確立しましょう。

東京舗装工業社員労働組合　　豊田 将司